

少しでも早く、日本語に慣れるよう

「日本語講座」開設

MINOKAMO 日本語会話パートナーズ

日本語講座

毎週土曜日、MINOKAMO 日本語会話パートナーズ（代表長谷川壮重さん）による「日本語講座」が中央公民館で開催されています。

教室を飛び出して、お互い文化や言葉などを学びあいたいです

私は、以前ネパールに旅行をしたときに、たまたま見に行った日本語学校でチベット人の子に日本語を教えていました。

その後日本に戻り「日本語の教え方講座」に参加して、日本語を教えることにさらに興味を持ち、日本語講座にボランティアとして参加しています。

現在、ボランティアスタッフより、日本語を習いたいという生徒さんの数の方が多いので、ぜひ多くの方にお手伝いをしていただきたいです。

今は教室での活動がほとんどなので、今後ぜひバーベキューや山歩きなど教室を飛び出した活動をして、日本語を学ぶだけでなく、私たちも一緒にお互いの文化や言葉を学ぶことができる活動をしていきたいと思っています。

（日本語会話パートナーズ 横山）



日本語会話パートナーズ
横山亜希子さん

少しずつ日本語を覚えていけるのが楽しいです



ヤマダ・フラビオ・

・ヨシユキさん（左）

ヤマダ・シルビアさん（右）

ヤマダ・シルビアさん（27歳）

私は、日本に来て3年になりました。広報のポルトガル語版で日本語教室が開催されることを知り申し込みました。日本語教室に通って、少しずつ日本語を覚えて行けるので楽しい。

でも、この教室に通い始めたときは、友達もたくさん来ていましたが、この教室が開催される土曜日の夜はみんな遊びたいみたいで、辞めてしまった人もいます。

赤ちゃんの病気などが心配ですが、市内にはポルトガル語の話せる人がいる病院があるので安心です。

ヤマダ・フラビオ

・ヨシユキさん（32歳）

日本には、1990年から96年までと2000年から現在までになります。

ボクは、日系2世で父母は日本人です。だから、ブラジルでは、日本語で話していました。

日本での暮らしには、違和感はありません。

今は、可見市の大きな工場で働いています。そこには、ブラジルやほかの国からの人もいっぱい働いて来ていて、言葉には苦労しますが、日本語を覚えるには、以前働いていた小さな会社の方が、周りが日本人ばかりでも親切で覚えやすかったです。

こういう講座が、昼間に託児付きであるのと、子持ちのお母さんが助かるのですが。

